

令和4年度 第3回博物館協議会 (抄録)

日 時	令和5年2月9日(木) 午後1時30分～2時30分	
場 所	安城市歴史博物館2階講座室	
出席委員	高山 忠士	会長
	加藤りせ子	副会長
	松永 博司	
	荒井 信貴	
	市川とし子	
	平岩 政志	
事務局	加藤 浩明	生涯学習部長
	邨澤 英夫	文化振興課長
	片岡 晃	安城市歴史博物館館長
	野上真由美	学芸係長
	三島 一信	専門主査
	西島 庸介	専門主査
	本部はる香	任期付職員
	井上宗一郎	指定管理者
		安祥文化のさと地域運営共同体総括責任者
	小野 麻紀	指定管理者
		安祥文化のさと地域運営共同体副総括責任者

次 第

1 市民憲章

2 あいさつ

3 協議事項

(1) 令和4年度開催済事業報告

(2) 令和5年度事業計画

4 その他

(1) 今後の日程

・第1回 令和5年5月下旬 予定

3 協議事項

(1) 令和4年度開催済事業報告

事務局	【令和4年度開催済事業報告について説明】
指定管理者	【令和4年度開催済事業報告について説明】
会長	事務局の説明が終わりました。質問等がございましたらお願いします。
A委員	<p>学校教育の面からお話をさせていただきたいと思います。先日の安城市教育委員会社会部会研修として歴史博物館で研修会を行い博物館の学校教育との連携について解説をしていただきました。この研修会の中で特別展観覧料の減免申請の対象にならないことを最終段階で言われ、各学校に配布された招待券等を利用して対応させていただきました。</p> <p>この点については社会科部会が急きょこの場を設定させていただいたことから指定管理者の方にもご迷惑をおかけしたと思いますが、我々もこういった立場にいる中で危惧することがございます。</p> <p>例えば、6月に起きた明治用水の大規模漏水の際には、市外・県外から来た教員が多く、市域の歴史に触れる機会が少ないため、このような出来事を活用するよう求めてもそれができないということがありました。教育現場で今までは市内出身で、小学校教員免許も持っている中学校教員が多くいましたが、小学校教員免許を持たない教員が増えてきました。そうした状況から中学校に地域の歴史に触れるカリキュラムがないため、学区の歴史を伝えるのが難しくなっています。そういう教師たちに、子供たちに何を伝えてもらうかと考えた時に、誰に何の種蒔きをしたらいいかというところが博物館の役割ではないのかなと思います。</p> <p>6月の明治用水の大規模漏水の際に、メディアは住民の暮らしについて触れていなかったため、明治用水と生活にかい離があると感じました。これは学芸係の仕事ではないかもしれませんが、アンフォーレでは、1日1コーナーで新聞の中から取り上げた特集コーナーを作っています。そこから調べたいと思った時に集客を考えるのが指定管理者の役割だし、そういう視点も必要かなと思います。</p>

	<p>今回の件も同じようなことが言えて、「どうする家康」を考えた時に、三河一向一揆については、教員にとっても難しい内容です。また、教員もこれまでは、愛知教育大学や岐阜大学の教育学部の出身の教員が多くいましたが、現在では社会科教員でも社会科を一通りすべて学ぶことなく哲学や経済しか学んでいない教員が中学校の教員としてやってきます。その中で「どうする家康」の盛り上がりとは別に教育普及をどのように行っていくかを考える必要があると思います。高浜市かわら美術館、名古屋市美術館や豊田市美術館では、教員へのレクチャーを行い、展示の無料券を渡しています。そういう広報をしていることや、他市にも送られてきていることを考えると、こうした取り組みが大事なのではないかと思います。松平シンポジウムなどの専門家のコアな活動が根付いてきているので、そういった下地は大事にさせていただきながら、それをいかにわかりやすい言葉で広めていくかということが、われわれ教員の役割だったりすると思います。</p> <p>先日の研修は「どうする家康」の機運に乗って学校もどうやって子どもたちに還元するかを考えて教員から発案した活動です。皆さんの中には、社会科の教員であるのだから現場に足を運べよと思う方もいらっしゃるかもしれませんが、先日の研修でも熱心に何周も展示を観る教員がいました。中にはそういった教員でないの也有います。ですが、誰に適切に伝えられているかというところもあります。</p> <p>今後の学校教育の為にもお伝えしたいのは、一方で、見学には来てくれ、歴史の広場は参加してくれ、という風になるとそれはお互い対等ではなくなってしまうのかなということは思いますので、ご検討いただきたいと思います。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>
B委員	<p>他の館はあまりお金を取らないと思うので、今の話を聞いて少し驚きました。安城市は博物館の設立の段階で教育現場との連携というのを非常に重視した博物館で、これだけ地元で根差し、地元の教育に根差した博物館はないなと思っていました。</p> <p>子ども達用に学校の先生と見学用のパンフレットを作ったりしている実績が詰まっている博物館なのでもったいないなと感じました。</p>

	<p>学校にチラシを配る際でも、先生が配る時に「この展示面白いよ」と言うか言わないかでは全然違う話になると思います。子どもたちと博物館をつなぐのが先生という意識にならないと、やっぱり難しいのではないかと思います。</p> <p>積極的に先生方に関わっていただくための布石のつもりになっていかれるのが大事なのではないでしょうか。</p> <p>地域の歴史の展示だからこそ、学区の子ども達にみていただく、市域の子どもに見てもらいたいくらいの感覚にならないといけないんじゃないかと思いました。</p>
C委員	<p>A委員が言われたことに関して、市外県外の先生が多いことは知っていましたし、20年位前からそういう傾向が強くなっていてと思います。</p> <p>A委員に対して批判的な意見になってしまいますが、教員の立場にある者だったら、自分でお金を出して自分で勉強して、安城に赴任したのであればそれぐらいはしてほしいと思いました。</p> <p>一向一揆について私の立場からお話しすると、博物館にとってうれしい意見を聞きました。それは、NHKの衛星放送で徳川家康の10大ピンチの特集で歴史研究者や専門家からアンケートを取った内容の番組が放送されていました。その中で安城市歴史博物館の学芸員の名前があり、中世の研究者としてNHKからお声がかかるような方がいることを知らなかったというお話が観光協会などからありました。歴史博物館の名前がテレビに出たことは効果があるのではないかと思います。</p> <p>家康ボランティアガイドが約900名ほど本證寺等を案内し、ガイドを利用していない人は本證寺でも1400～1500名ほど来ていると思います。その中で、本證寺を目当てに来る人が7割から8割、歴史博物館は2割程度です。本證寺に1月はほぼ毎日顔を出していましたが、観光客がいなかった日はありませんでした。2月以降も観光バスの予約が入るなど、見学者の増加が予想されます。</p> <p>安城家康ガイドの反省点としては、文化財係が用意した資料を家康ガイドが真面目に勉強して、資料に忠実に話をしようとしています。観光ガイドなのだから半分は正史の話をして、半分は余談なども話した方がいいのではと思いますが、ガイドの皆さんは正確な歴</p>

	<p>史を伝えないといけないからと難しい話を観光客にしています。観光的な視点が今後の課題です。</p> <p>ガイドを利用するお客さんも市外・県外の方が多く、きっかけは大河ドラマの方が多いです。ガイドでもチラシを配るようになっています。</p> <p>今後、観光に来た方に安城と家康と一向一揆を理解してもらい、安城市内をいかにPRするか、本證寺と安城市歴史博物館だけではなく、安城を理解してもらいたいと思って取り組んでいます。</p>
D委員	<p>一点質問ですが、4ページの収集・保管活動の中で池浦町水田利用研究室岩月信治記念館資料がありますが、2階にあった全部の資料ですか。</p>
事務局	<p>そうです。まだ整理作業は始まっていませんが順次行っていく予定です。</p>
D委員	<p>2025年が日本デンマークとして『農政研究』で特集を組まれて100年の節目の年になりますので、期待をしています。</p> <p>そういったところで、近代の資料は私たちよりも上の世代は知っているため残りにくく、いつの間にかなくなっていってしまいます。</p> <p>子ども達に伝えていく安城の歴史を考えると、近現代資料を生かした展示が小中学生に見てもらえるとよいのかなと思いました。</p> <p>身近な産業も廃業していくので、どこかで調査研究をして残しておく必要があると思います。</p> <p>安城の倉敷紡績工場の跡地は工場や事務所など一式残っていたので、近代化遺産にしても良かったと思っています。そういったものが一切消えてしまうことを危惧しています。文化財系の建造物調査の結果を含めて展示をすることで市民の皆さんに還元してほしいと思います。</p> <p>もう一点は、指定管理のイベントは好評なものが多く、雛人形も恒例行事となり、楽しみになっていて、ここ数年よく工夫されていると感じます。子どもたちが喜ぶようなものについて引き続き期待していきたいと思っています。</p> <p>最後にもう一つ、特別展を見せていただくときに思うのは、資料の字が小さい、資料とガラスの間に距離があるなどがあります。資</p>

	料との距離を縮めるために、例えばタブレットを手もとにおいて細かい部分をもっと見られるような工夫を考えてほしいです。タブレットを外に置いて、自由に操作できるようにしておけば、その資料の面白さを伝える工夫をしていただきたいと思います。
E委員	社会科部会の研修は一年に一回歴史博物館で行われているのでしょうか。
A委員	長い間行われておらず、今回コロナも明けたので再開しました。以前は指定管理者が入る前に行われていました。
E委員	刈谷市博物館では1年に4、5回教員と博物館が意見を交換して運営しているという話を聞きました。私ももう少し博物館と学校の距離を縮めてほしいと思いました。 例えば学芸員の方に明治用水などの安城市の歴史についての講座を先生にさせていただいたりして、交流ができたらいいなとも思います。 イベントという点では、特別展「養生から健康へ」で健康測定コーナーのイベントがすごく良かったです。健康に関心を持つ人が多いため効果的だと感じました。また、展示テーマについても歴史博物館ではなかなか扱わない部分だったため勉強になりましたが、コロナ禍の現状を考えて感染症に関する歴史の展示コーナーもあるともっと良かったと思います。
C委員	先日他の方から、博物館は展示をしている展示館で、その博物館の収蔵品を展示しているだけだと思われていました。2、3年前から展示準備を行い、国宝や重要文化財も借用して展示していることを伝えると、驚かれました。ほとんどの市民の方は博物館が安城市にあることは知っているけれど、博物館の職員が苦勞して準備をしているということを理解していないようです。 これからは博物館自体のPRも必要ではないかと思います。
会長	活発な発言をありがとうございます。それでは、次に移ります。

(2) 令和5年度事業計画

事務局	【令和5年度事業計画について説明】
指定管理者	【令和5年度事業計画について説明】
会長	事務局の説明が終わりました。質問等がございましたらお願いし

	<p>ます。</p>
<p>A委員</p>	<p>企画展「勉強っておもしろい？」では、校長会として皆さんにお伝えしたこともあり、個人的に見学した中で段々と軍国主義に染まっていく過程や、郷土副読本「あんじょう」が展示されているなど、現在との繋がりを感じました。また、子どもの視点から見た勉強の変遷がよくわかりました。</p> <p>こうして自分が体験したことを口伝での宣伝が大事で、来年度の展示についてはチラシだけではない手段が色々あるため、ボランティアなどの人の力を使って、例えば俳優の名前を使うなど、つなげなげること足運んでみようと思える人が増えると思います。展示内容の専門性は大事にするべきだし、レベルを下げる必要はないが、そこからつなげていくのは学校だったりボランティアだったりそういうところだと思います。</p> <p>指定管理者の方にはお金を集めるという部分では、例えば歴博のツイッターをしていると思いますが、それがどのくらいのフォロワーがあって、どういう風に発信をしているのか。歴博のツイートを何でバズらせるのかを考えないといけないと思います。</p> <p>こうした発想は指定管理にしたからこそ考えるべきであって、今までの市の直営と変えるべきでそうした部分での連携・連動の中で市民の力、例えばボランティアの方と一緒に地域の面白さを広めるためにみんな同じ方向を向かっていくことが大事だと思います。</p> <p>このドラマが来たからどうするではなくて、安城は松平シンポジウムも含めて地道に研究者としてのニッチな所をつかんだうえで今こそ、どういう風に三河一向一揆を形にするか、ここからが大切だと思います。</p> <p>先日の中日新聞の記事で「安城は盛り上がってないけどどうですか」と言われたと思いますが、自分はそうではなく、みんなが分かりづらかったことをここからみんなで分かりやすくしていく、だから、ここで何かしていくということが大事だしいと思います。内覧会に関して言うと、市の職員はそれを見て自分たちの事業とどうつなげていくのかということを考えてほしいと思います。</p> <p>学校の役割というところでは、子ども達が未来のことを考えるために、今の安城を知ってもらうための材料を提示する事であり、ボ</p>

	ランティアの方は自分たちの地域は面白いよというところをつなげる。そこで安城市はどうするかということで観光客を集めることがメインというよりも、我が町を大事にしたうえで他の人にも自慢ができるというところの一角を今回の歴博は担えると思います。その中で正確な歴史をつかみ、この地域のすごさを松平シンポジウムとかでうまく広げていかないかというところを大事にしながら、これから家康ブームが去ったとしても、そこを大事にしながら松平研究の聖地となるようになるといういいなと思います。
会長	無いようですので、次に移ります。

4 その他

(1) 今後の日程

事務局	今回の博物館協議会で2年間の任期が終了となりますが、委員の皆様方には引き続きお願いをいたしたいと思います。今後の博物館協議会の日程としては、第1回博物館協議会を令和5年5月26日（金）に予定しております。後日、改めて通知文を送付させていただきますのでよろしくお願いいたします。
-----	--